

寄附等に関する事業
事業スケジュール(案)

分野	事業名	実施方法	H24												H25		
			11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
金融機関からの融資に関する事業	NPOと金融機関の出会いの場づくり事業	研究会直接実施 (金融機関等の協力を得ながら実施)	実施方法の検討												意見交換会の実施		
			実施方法の検討												研修会実施		
			実施方法の検討												勉強会実施		
助成金に関する事業	各種助成金に関する実態調査事業	研究会直接実施	●調査方法の検討												●イメージ案> NPO等と金融機関との合同イベント ・NPO対象に融資制度説明 ・金融機関がNPOを知る機会 ・交流イベント		
			調査												まとめ、報告		
寄附関係	ロゴ・キャッチフレーズ制作事業	研究会直接実施	●事業イメージ作成												●イメージ案> ・助成金の実態調査結果報告		
			事業内容の検討												研究会で審査		
			公募												●審査 ●決定		
寄附関係	広報イベント(キャンペーン等)の開催	委託実施を検討中	●事業イメージ作成												●イメージ案> ・社会貢献活動を促進するロゴ、		
			事業内容の検討												イベントで広報・活用		
			●事業委託												キャンペーンイベント(検討中)		
全体関係	各種勉強会の開催、視察の実施等	研究会直接実施	●実施方法、事例検討												●イメージ案> ・島根にあった寄附システム検討		
			システム内容の検討												寄附システム活用		
			関係者協議												キャンペーンイベント(検討中)		
研究会	各種勉強会の開催、視察の実施等	研究会直接実施	●ファンドレイジング日本2012研修参加(2/4,5)												●研修報告会		
			●11/18												●2/16		

＜島根県 新しい公共支援事業＞
ロゴマーク及びキャッチコピーの公募について（案）

1. 趣旨

- ・島根県ではいきいき活動（社会貢献活動）を促進するため、ロゴ及びキャッチフレーズを公募します。

2. デザイン・コンセプト

- ・1の趣旨がわかりやすく表現されていること。
- ・ポスター、チラシ、ウェブサイト、看板等幅広く使用できること。
- ・カラーでもモノクロでも展開可能なもの。
- ・他人の著作人格権及び著作権を侵害しないもの。

3. 提出いただく資料

- ・ロゴ及びキャッチコピー … A4 サイズ用紙 1 枚に 1 デザイン案及び 1 コピー案を印刷してください。（1人3案まで）

4. 採用賞金

- ・採用者には、デザイン料としてロゴ 20 万円の賞金をお支払いします。

5. 提出期間

平成 24 年 3 月 1 日（木）～ 5 月 1 日（火）17 時（郵送の場合は必着）

6. 応募対象

島根県内に在住・在勤・在学中の方。なお、プロ・アマは問いません。

7. 採用基準

- ・上記のデザイン・コンセプトへの合致を総合的に評価して決定します。
- ・新しい公共運営委員会の運営委員で構成される「寄附等に関する研究会」で選考し、新しい公共運営委員会にて決定します。

8. その他

- ・採用後、若干修正を依頼する場合があります。
- ・採用ロゴデザインはカラー・モノクロ版ともに ai 及び jpeg ファイルで納入いただきます。
- ・応募作品の著作権・著作権等の使用に関する権利は、応募の時点で島根県に帰属します。著作者人格権は行使できません。応募作品は本事業の広告に使用できるものとします。この場合、広告使用に関する使用料等は原則発生しません。
- ・応募作品が第三者の著作権等の知的財産権を侵害しないようにしてください。万が一これに反して損害が発生した場合、応募者にその責任を負っていただくこととなります。また、応募作品は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ・応募に係る経費は支給しません。

9. 問い合わせ及び提出先

島根県環境生活部環境生活総務課 NPO 活動推進室

〒 690-8501 島根県松江市殿町 1 番地

電話 0852-22-6099（直通） E-mail npo@pref.shimane.lg.jp

ロゴマーク及びキャッチフレーズのイメージ

(案1)

東日本大震災は未曾有の被害をもたらした一方、人と人が助け合い、支え合うこと、絆の大切さを気付かせてくれました。

私達のふるさと島根も少子高齢化、過疎化、地域経済の不振など厳しい社会経済情勢にあって、地域を良くする為に何かをしたい、困難を抱えている人たちの力になりたい、こんな思いを抱く人が私達の地域社会にはたくさんいます。

誰かのために何かをしたい、そんな社会貢献への思いを象徴するツボマーク(ロゴマーク及びキャッチコピー)を作りたいと思います。信頼と応援を基本に、県民の皆様一人一人の社会貢献の思いを表し、がんばっている人、困難に立ち向かっている人を、例えば、寄附の形で応援する、そんな社会をめざす県民運動を興し、そのツボにしたいと考えています。

ぜひ、積極的なご提案を御願いたします。

(案2)

私達の住む「しまね」は今、少子高齢化、過疎化、地域経済の不振など様々な課題を抱えています。ある意味「もう限界」という想いの人もいるかもしれません。

しかし、こんなときだからこそ、「いきいき活動」(社会貢献活動)への参加を呼びかけ、皆で「しまね」を支えることによって、活力のある「しまね」を築くことが求められます。

そのような思いを表したロゴ、キャッチフレーズを募集します。皆様の熱い思いをお待ちしています。

<具体的には次のような思いが表現されたもの>

- ・「私が支える、みんなで支えるしまね」
- ・「私にも何かできることがある」
- ・「一人ひとり大切な役割がある」
- ・「私も応援(サポート)しています」
- ・「見せよう!しまねの底力を」